夕刊
磐城新聞
二月十七日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六五五八五番

天氣豫報　小名濱測候所觀測
今晩は西の風晴
明日も南東の風晴
時々曇

故郷そぞろごと

佐伯仁三郎

或る會で、山本嘉將さんにお眼にかかり、久し振りで懐しい鳥取辯を聞かされました。そこで僕が隣にゐた都領省吾君に
『これがむき出しの鳥取なまりです』
と紹介したら、さすがに山本君も頭をかいてゐたやうでしたね。
故郷を懐しがらぬのが鳥取縣人の一つの癖ださうですが、正にさう云ふ一人の僕であつたものが、之と此、五年歸らないでゐると何となく思はれてくる。やぱり齡かも知れないなどと思ひ出す『鳥取縣人』がとうも同郷の人の事を良く言はぬ、之が愛郷心を殺がせる大原因だ——とよく先輩や縣人たちから聞かされるのです。噓か本當か知らないが、昔はさうであつたかも知れないといふ氣もする。
殊に歌人などにはそれがひどかつたのではなからうかと思ふ。あの有名な飯田年平翁などの事を聞くと、縣郡所の客人になられて移と云ふものは、とても傍へなど寄れなかつたといふ噂をする人もある。
山本君が專門にやらうとしてゐる例の景樹の事を聞くと、郷でありながらまるで敵かなにかの樣に言つたものださうで、後世から公平に見ればどうかと思はれぬでもない。しかしさう言つて年平翁の狹量を駁すると僕も亦同郷の先輩をそしる事になるから、一寸ひかへねばならなくなる。
どうぞまあ、同郷のよしみでおきり惡く言はないのに、善くいふ樣にしませよ。惡口を言はれてへつこむ仲間褒めをせられて氣になるのもどうせ……ないが、ともかく士の總ともいふものは大きい。くも理解がはやい筈だ。故郷嫌ひなどといふ烙印は返上できない限りいかにもつきらない。
僕もせいぜい『太閤』の話をはめませう『まん更でもない』とね。あなたの方が郷里の人間だからくさしてやらうといふやうな事でなく願ひたいものです。そして詰らぬ作も僕のこんなと編んだ歌集『群竹』もなるべく多く買つていただきたいものです。

2月18日
△屋島の戰（文治元）△ルーテル歿す（一、五四六）△植村中將事件軍法會議判
士に豫備陸軍大將林仙之氏起用發令（昭和一二）

別離

猪狩牧秋

○我が戀ておしまぬ人よためらはず語るべくして語り得ざりき
○歳半ば在りて言なく別れなり見きそめてより思ひそめしに
○君が文幾度となく讀みかへし生の歡喜に浸りて居しが
○かく繁き文のゆき交ひもつれてはさよりも身の魂もさかりぬ
○仄暗き町外れ路に言もなく別離なりしか還らぬに
○人絶へし夜更けの道をさかり行く姿見まもり空し嘆かふ

つぶやき
○
雪解野のどこやらに子等の聲聞ゆ　曲東

次蘇峰先生韻　珠雲　小野淞亭
滔々傾海萬千言
光炎衝雲擁帝閣
畢竟揮來緣大筆
文章只有答皇恩

講談

恩讐無道（おんしうむどう）

久我荘多郎 作
香川三十代 畫

(59)　『天の卷』　落武者（十三）

樵夫たちの眼が動いたのはその顔色でわかつた。
專藏は、いよいよ熱心に語しつづける。
『どうだ。お前たちは、官軍から受取る褒美をうしたにかなばかりか、その上さら、百兩手に入れることが出來るのだ。この相談に乘つてみぬか。』
『その百兩は……そこに持つて居るのか。お前さん?』
一人が、臆病さうに訊いた。
『いや、今こゝにない。けれど、誰かお前たちの中の一人が、江戶まで取に行つてくれゝば、すぐと渡してくれる。わしがその手紙を書く』
『それア駄目だ』
別の一人が、はつきりと言ひ切つた。
『そんな話が、當てになるもんか。その手紙を持つて行くと、逆にこちらが、ふん縛られてしまふ』
『そんなことはない』
こゝまで來た話だ、專藏は、この機會をのがすまいと眞劍だつた。
『手紙は、お前たちの見てゐる前で書くし、たゞこの使ひの者に百兩渡してくれと、それを書くだけだ。急用で百兩要るといふのだが、お前たちに、何の疑ひもかゝるわけはないし、不都合もなからう』
『……』
樵夫たちは、まだ顔を見合せた。
からまでいふ專藏の言葉を、この上疑ふところのない彼等だ。一同は焚火の傍でひそひそ相談をはじめた。
間もなく、呆作といふ男が振向いて、
『ちや、その百兩を受取までにはお前さんなど、こかへ監禁することにするが、……るか？
專藏に、全然あてのない話しである。友もすくない
だらうな？』
『いゝとも……』
專藏は、はじめて微笑をふくんだ。
これで、話は纏まつたわけである。
しかし、專藏のために、誰がその百兩を出してくれし、頼る身のない、寂しい彼なのだ。まして百兩といへば大金である。
深見惣介の顔が浮んだ。
專藏は、惣介のことだけ考へまいとして、ついそいで頭を振つた。昔の惣介なら頼つて……と現
……憎い憎い深見惣介なのだ。
では、そのほかに誰がある。誰が、專藏のためならば引受て出るか？
專藏は、唾をのんだ。
きこりたちは、その樣子をあやしんで、
『どうしたかね？』
と、詰寄つて來る。
專藏は、自棄に筆をとつた。
上書の宛名は、江戶裏神保小路の深見惣介殿——。
出してくれるか？それはどうでもいいのだ。江戶へ往復には、五日や六日はかゝるであらうその間の命だか、うまく行けば、逃げ出す機會が掴めるのではないかと、專藏の思案は、そこにつくのだ。
『……。こゝを持つて行つてくれ。大丈夫百兩渡してくれる』
『よし』
きこりたちは、顔を輝かがやかしてゐる。
專藏は、ほツと重い溜息を洩らした。
見上ぐれば、この谷を圍んで、黑屏風のやうに峨々たる山塊が、ひつそり立つてゐる。その上にさらに高く、さらに冷やかな山の夜空がある。白い星がつめたく、またゝきもせず光つてゐた。

平市南町
大和田醫院
電話一七〇

銃後の皆樣におすゝめする
（糸イラズ）
絹布、絲糸、暴騰の折柄古き破れたる足袋、靴下メリヤス、ジヤケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子樣方でも容易に修繕出來まして糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
（定價二十錢　三十錢）
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

二日市初賣に就て
來る舊正月二日市初賣に就て左記の通り御實行御願ひ致します
一、景品に就て……現金にて商品券御買上の方には景品を呈しますが商品券にて御買上げの方には景品は差上げません（但し酒類商組合員は景品は差控へる旨申合せました）
一、開店時間……其の筋の達により午前六時開店
一、二月の定休日變更……本月に限り二十五日に延期
平商工會
平市各商店御中
平市御客樣御中

電話五九二番に變りました
食堂 喫茶 酒場 宴會を承ります
喫茶
レストラン
サロン
平市銀座街

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイツチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村綴（平市外）
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合
藥品藥養劑
飼料各種
◇北里研究所製ジステンパー豫防液
◇東亞製藥所製綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイツシミール 榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任技師　獸醫師

（新工場始業ニ付）從業員募集
一、指物大工　經驗アル方　三十名
一、指物、挺物見習工　三十名
一、女工　三十名
一、女事務員　二名
高等女學校卒業の方（特ニペン字ト珠算ノ上手ナル方）
御希望ノ方ハ平市職業紹介所又ハ當工場ニ申込マレタシ
定給ノ外步合及賞與ノ特典アリ
佐藤木工所
平市十五町目二六番地

メガネ專門の店

メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目
玉屋

旅館
大幸館
東京上野驛前
下谷郵便局横通角
電話下谷區六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

明朗聽取
日本放送協會が指導製作
HK型ラヂオ
東北六縣同一値段
金 現 ¥50.00
月賦 ¥53.00
販賣申込所
富永ラヂオ店　電四九六番
古山ラヂオ店
各郵便局

家政婦
各御家庭向きの會員を急派致します。
會員募集
まじめでよく働ける御婦人を募ります。會員御希望の方は御來談下さい（寄宿の便もあり）
◎銃後は共に働きませう
磐城家政婦會
平市五丁目
產婆　猪狩かく方
電話四九二番

高
中等學校
國防色外套……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服
新入荷
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

日本石油株式會社特約店
（ライジングサン石油株式會社石油特約店）
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社 關彰商店平支店
本店　茨城縣下館町　電話五五、三三九番
支店　茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前　電大津一四七番
福島縣四倉驛前　電平潟五四番
福島縣小名濱町　電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名濱）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所　電話八二番四）

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）
磐田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及ビ見習看護婦募集）

齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主 院長　醫學博士　鈴木定藏
內科 小兒科　院長　鈴木定藏
內科 一般外科 皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……每日午前八時ヨリ午後四時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番

豫約既に一萬七千圓
相も變らぬ旺盛な市民の銃後心
平局の事變國債景氣

支那事變國債第八回賣り出しは愈よ來る二十一日に迫つたが之より先平局從來の消化成績其他を參酌し其筋に約二萬七千圓の配當を請求したに對して今日迄受付けた豫約申込みが既に一萬七千圓に達し相も變らず强靭な市民の銃後心を見せてゐる。今回分は千圓の特別債券から十萬圓の大口迄都合八種類があり、そのうち千圓迄の五種類を局から賣り出す事になつてゐるが今分の處平局へ豫約申込みの分は比較的大口が多く、其の間有産階級が從來に於ける現金の死藏から漸次時局下の意識に推移の傾向を物語つてゐる。因に一昨十二年十一月第一回賣り出し以降今日迄に於ける平局の取扱ひ消化高は實に三十五萬圓の巨額に上り、今回の分がまた此の前景氣にある點は眞に心强い極みであると當局の喜び方も一と通りでない

悩みの歲出豫算書 愈よ市長の許へ
新豫算に裁斷近し

縣の指示「五分減」より超過五萬圓近くの市の十四年度歲出豫算は委員會で一と通り檢討を終つたので愈よ昨十六日青沼市長の許に廻された、物價騰貴に伴ふ諸經費增大の聲を聞きながらこの超過豫算をどう處理するか?青沼市長最後の裁斷は注目される、一方市當局では現在の編成がなほ歲入二萬餘圓の不足を來してゐるので遽ぐる昭和十一年度以來の決算書を參考に新財源の捻出に頭をしぼつてゐるやうであり、彼此綜合すると新豫算の五分減編成は到底實現困難と見られて着々お膳立を整へてゐるものと觀られるわけである

補給金使途 先づ成績上々

平市外八ケ町村に對する十三年度財政調整交付金使途調査會は昨十六日縣地方課齋藤屬臨席の下に市會議事堂に開いたが何れも縣の指示通り使用して成績上々

平市のそれは總額三萬一千餘圓を特別戶數割の外地租、雜種、營業各種税附加税の輕減に充當

紹介所負擔輕減陳情
あす福島での會議に 青沼平市長出福す

青沼平市長は明十八日福島市で開かれる縣下市長會議に出席のため出福した

右會議は職業紹介所の國營移管に伴ひその維持費總額の半額は國で、殘る半額づゝを縣と紹介所々在隣接市町村の負擔となつてゐるが出費多端な市町村としてはこの負擔が容易ではないのでこの分を紹介所管內市町村の負擔にせられたき旨其筋に陳情する筈である

中堅農民長期講習

石城中堅農民長期講習會は去る一日より行つて來たが一と先づ休止、更に二十三日から來月十一日迄行ふ、修業證書授與式は同月二十一日の春季皇靈祭を卜して擧行

無盡制限外事業認可

湯本信用無盡會社ではさきに長期多額の取扱ひを要望、制限外事業の認可を得たが十六日市內磐城無盡會社も同樣認可された 從來は業法施行規則により五年間給付金一千圓以下に限られてゐたものが右制限外認可により向十年、三千圓臺の取扱ひが出來る

警防團結成
けふ濱通署長會議

來る四月からの警防團設立に關する濱通り警察署長會議は既報の如く今十七日午前十時から平警察署會議室で齊藤警察部長、木村警務主任、武山警部補ら臨席の下に開催、左記關係署長に對し新組織の內容とこれに伴ふ豫算編成等を指示した

本田(平)橫田(植田)薄葉(四倉)板垣(富岡)影山(浪江)長澤(原町)久和(中村)菅波(小野新町)

壯丁檢査日割內定
平市は五月上旬か

平市の今年度壯丁檢査は大体來る五月五、六日の兩日第一小學校で、又石城郡のうち平第一校では八月二日から十日迄、植田小學校では八月十三日から十五日迄行ふことに內定した

戰歿者慰靈祭
石城神職會の催し

石城神職會では來月二十一日春季皇靈祭を卜して市公會堂に地方の今次事變戰歿者合同慰靈祭を行ふ

軍用候補馬鍛練會

高久、夏井、豐間三ケ村聯合軍用候補鍛練會は十六日午前十時から馬鴻崎已之助氏を査閲官に高久小學校で開いた、出場二十五頭

ほがらかな營業不振
一ケ年で質屋さんの貸出半減

大衆向きの金融機關、市內四軒の質屋さんの昨年中に於ける營業狀態を此程市役所で纒め上げた——これによると前年末一萬三百二十九口この額三萬四千三百二十三圓だつた貸出額が一ケ年の間に(貸出)一萬七千五百二十七口五萬七千四百五十三圓に對して(受戾)二萬三千四百二十五口八萬九千九百二十七圓といふ活潑さだし流れがタツタ五百六十七口千八百三十九圓なので差引年末の現在高は前年末に較べて約半減の三千八百六十四口一萬八千十圓といふ朗かな營業不振?、軍需景氣の波に乘つた大衆の懐ろ具合を質屋さんの暖簾越しに見るとザツトこんなわけである

表彰金を寄附
ソツクリ 正木さりさんの美擧

平市營火葬場番人正木さりさんは舊臘十四日午後四時頃平支部豫審廷から脫走した作家崩れの强盜傷人荒木宙夫逮捕を容易ならしめた廉により南條刑務支所長から表彰され贈られた金三圓を『お困りになつてゐる出征軍人の家族の方へあげて下さい』とソツクリこれを市軍事後援會へ寄附したので靑沼市長もその心根に感激し早速感謝狀を贈つた

陣中を聽く
(338)

我が軍なればこそ 眞に神の業に近い
材木町出身 大井川和郎君(通信)(二)

九江方面から見ればなだらかで赤井嶽の樣に見れる廬山も裏からは星子方面は全然趣きを異にし屹立する怪岩の累積は只々驚歎の外ありません。一番際どい大岩石の下の傾斜面に砲第五十八師の兵舍があり、に大きなもので何處を見ても禿山ばかりで何の材料もありさうにも見られない山間の僻地によくも是程の大壘築が出來たものと讚歎するばかりです。前には遙かに今は水涸れたれども巨大な湖の樣な鄱陽湖を双眸の裡に收め、景色は頗る雄大です。此處でも支那軍は想像[illegible]以上に頑强な戰鬪精神が旺盛であつた事は御承知の通りです。星子を過ぎ秀峰寺のあたりから道は山と山との僅かな間隙を縫ふて德安方面に通じて居ますが來るに從つて防備愈よ固く山あれば必ず塹壕あり、塹壕あれば掩蓋壕あり、掩蓋壕あれば必ずトーチカあり、山と山との間には相互を連絡する交通壕あり、その長さが幾里なるやを知らず、道路は處る處無數に戰車壕を掘つて我が戰車の進撃を阻む等宛然大要塞の連續であります。斯くの如く惠まれたる地形に地の利を知る彼らが斯くの如く防備を施して大兵を擁して防戰力鬪せる處を突破し降伏せしめ得た事は、素より御稜威の致す處にてまた銃後の皆樣の御後援に因る處なりとは云へ、忠勇無双にして旺盛果敢なる戰鬪精神を有する皇軍なればこそと思ふと同時に百何十度の炎熱と鬪ひ病魔を征服して頑敵を殲滅したる友軍の辛苦は我々の禿筆のよくする處に非ず、眞に神業であります。

星子から五六里の地點も最も激戰あり一處に溫塘傳と云ふ處あり、火傷するやうな熱い溫泉がこん〳〵と湧出し軍では溫泉場の設備をなし皇軍關係者に隨時一浴を許可して居ります。戰地に來て溫泉入りなど夢にも思ひませんでしたが前の山の塹壕やトーチカを眺め乍らの入浴も得も云はれぬものです、其の上時々轟く重砲野山砲の爆音の伴奏入りで一層朗かな事であります

市の子弟を救へ
平商の入學難緩和に 一部有志の見解

平商業學校では從來すら卒業生に廢りの出なかつた處へ近來時局の波に一層この傾向が顯著となつて學校に對する各父兄の正認識が深まつた爲め逐年入學志望者が增加し今春の受驗難は果して如何なる程度に深刻化するか今から志望者の心を暗らくさせてゐるが現在に於ける同校の機構上遂に定員を增加出來ぬ事情があり就學難の緩和は差當り望み得ない運命に置かれて居る今日、或る一部に最近

市が多大の費用を負擔して設けて置く學校であり乍ら公募の方法で他方面の子弟を同等に收容するは縣立ならば知らず、市立學校の觀念から云つて當らぬ事である。優先の方法その他宜しく市內の志望生徒を優遇し、他のものを第二義に扱ふのが至當である

と云ふ見解が行はれ、首肯すべき議論として相當の共鳴もあるらしいので或は近く何等かの形式によりこれに關する檢討が始められるかも知れぬ情勢に在る

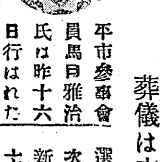
鍛冶工組合創設

石城鍛冶工業組合創立總會を二十五日午前十時から平市會議事室

司法保護委員任命

司法保護事業聯盟の設立に伴つて石城十三名双葉七名、計二十名の委員が任命され來る二十六日市公會堂にこれが辭令交付式を擧行席上學校、官衙長、工場關係者に對して趣旨を指示

市議馬目雅治氏逝く
葬儀は來月八日執行



平市參事會員馬目雅治氏は昨十六日行はれた平商講堂上棟式よりの歸途午後五時二十分頃發病、百方手當の効なく同六時五十分家族近親同僚等多數に看護られ乍ら紺屋町の自宅に於て急逝した、享年四十四歲、今十七日午後二時茶毘に附し、葬儀は舊正のため來月八日午後二時自宅出棺市內菩提院で執行する

氏は仙台市南材木町二番地佐藤榮治氏の七男として生れ、仙台二中から東京大原簿記學校に學んで大正八年十月馬目家に入り、爾來縱橫の才幹を發揮して各方面に活躍、昭和四年五月三十四歲にして町議に當選、八年再選引續き一昨十二年第一次の市會議員として當選、新興會に於ける情熱の鬪士たる一面福島民友嘱託三郡支社長、立憲民政黨縣代議員、市學務委員、平商業學校保護者會長、平庶民金庫總代人等公私各方面に關係大に將來を期待されて居た。よし子夫人との間に磐中四年在學中の長男智夫君外五男一女あり豪放の裡にも子女の教育に就ては常に細心の注意を拂つてゐた、各方面からその死を惜まれてゐる(寫眞はありし日の馬目氏)

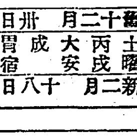
市から弔慰金

市參事會を十七日午後三時から開き故馬目雅治氏に對する弔慰金贈呈協議

平市慶弔錄

△出生 本籍胡摩澤東京市豐島區雜司ケ谷町桐谷文雄氏三男信雄君、本籍久保町東京市中野區池袋町渡邊林八氏娘靖子ちやん

○婚姻 赤井村西小川鈴木敏近氏(三二)市內中平窪鈴木キミさん(二六)



舊十二月廿八日 土曜 丙戌 大安 成 胃宿 新二月十八日

▲一白 力餘りて自ら例ろゝが如し餘ゆうを殘すが勝▲二黑 些細の故障より前途の光明を失ふべし注意▲三碧 物事は自分より行なやみを生ずる恐あり注意▲四綠 不たうの覺悟を以て進めば出世の端ちよをつかむ▲五黃 物事成らんとして手違を生じ易き日爭注意▲六白 思はぬ所に手落ありて失敗を招きやすき日▲七赤 內輪に爲さんとする事も派手になり易き日▲八白 成功にあせればたんせいに陥る事あり病難亦注意▲九紫 萬事有利に展開せんとあかず努力すべし

十八日 (小名濱測候所發表)

滿潮 二、五〇 一、五〇

干潮 八、三〇 八、四五

廣告

新興ダイヤペン付 ウエル萬年筆 金一圓五十錢以上
本品ハ商工省主催「代用品工業展覽會ニ於テ一萬數千點ノ出品中萬年筆トシテハ只一點鑑査ニ合格セル新興國策製品ナリ
平市才士小路 代理店 魁文堂 電話313番

平市新川町 北川外科 電四六四

酒ハ白菊
酒之王 君德 クントク
秋田・伊藤本家吟釀
特約店 平市田町 白菊廣瀨支店 電話五四番

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

銘木(床ノ間材) 天井板、ベニヤ板買ふなら確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ 福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
◎小店員募集 年齡十五歲ヨリ廿歲迄

平市田町 高久病院 (電話五三一番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐[illegible]
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
(看護婦至急募集)

磐城の御みやげ品
名物 靈峰(みやま)羊かん(名產柿煉)
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

外科一般
內臟外科 肛門病科 皮膚科 泌尿生殖器科(婦人科 性病科) 專門
(入院隨意)
平市字鎌田町 白土醫院 電二七九